

## 研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-152	24-080	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 三浦克之
題名 (原題/訳)		
The non-linear correlation between the severity of alcohol consumption and depressive symptoms in the Chinese Wa ethnic minority 中国の少数民族和族におけるアルコール摂取量と抑うつ症状との非線形関係		
執筆者		
Liu J, Feng X, Liu Y, Xiao L, Tong R, Wang Y, Lu Z, Jia F, Zhang X, Li Z, Du X, Yang W.		
掲載誌		
Front Public Health. 2024 Oct 30;12:1430840. doi: 10.3389		
キーワード	PMID	
アルコール摂取、抑うつ症状、少数民族、非線形関係	39540101	
要 旨		
<p><b>背景：</b>中国の少数民族である和族において、アルコール摂取と抑うつ症状との関連を検討した。</p> <p><b>方法：</b>中国滄源県の少数民族和族の現在飲酒者 317 人を対象とした横断的分析を行った。多段階クラスター抽出法を用いて、アルコール使用障害識別テスト (AUDIT) のスコアが 0 点を超える参加者を抽出し、統一された質問票を用い対面面接でデータを収集した。AUDIT によるアルコール摂取量を算出し、患者健康調査票 (PHQ) -9 により抑うつ症状を調査した。アルコール摂取量と抑うつ症状の関係は、多変量ロジスティック回帰モデルを用いて評価した。また、平滑化プロットの適用により、潜在的な非線形関連を精査した。</p> <p><b>結果：</b>現在飲酒者 317 名 (男性 196 名 [61.83%]、平均年齢 41.78±12.91 歳) のうち 94 名 (29.65%) に抑うつ症状を認めた。多変量ロジスティック回帰分析の結果、AUDIT スコアが高いほど抑うつ症状有のリスクが高かった。また抑うつ症状のリスクは、AUDIT 低スコア(1-7 点)群に比べ、アルコール依存域である AUDIT 高スコア(15-40 点)群で 7.01 倍高かった。平滑化プロットは、AUDIT スコア 15 点で変曲点を持つ J 字型の非線形関係を示した。この変曲点の左側では有意な関連を認めなかったが、右側では正の関連を認めた。</p> <p><b>結論：</b>中国の少数民族である和族においてアルコール摂取量と抑うつ症状リスクとの間に非線形関係を認めた。本研究結果は、本集団に合わせた効果的な治療戦略に役立つ可能性が示唆された。</p>		